

小三郎栗阪原喜兵衛黒川五兵衛榎田三祝神尾十郎
金田長作大高五郎左門を始めて都合三千五百余
騎道盛公と山本黒ととて七十年此名馬が亦多し
又其日金山とて亦一着一翌十日沼橋の城を取
りて經兵衛公攻る中官之助專ら防ぐ故味方死
傷此者多し道盛公永幣を取下知るるもやり推
の者共據下し着しを是を防ぐ人並に榎田小田
平次郎榎田仁兵衛戸田彦九郎を始て七十年城戸
を打破りし入られぬ故年城引退く其日苦み及られ
人殺を北へ五六所引揚野陳る明日攻むるを急ぎ

如ふ其夜城中矢火有る櫓役所一宇も残らず焼失
道落行湯沢城今小野寺越後守と共彼所の
櫓を奪ひ道盛公を焼跡小野旗を奪ひ叩者者共是
處を行へしか所を合を揃へ冷水丹波田口美濃村松
豊前六百五十余人残るを以て小野寺北押とて
こゝに之を留るに歸陳天文十五年其の以秋田櫓固本
堂六郷の人々年久捕代は之へ秋田と益夜合戦
止むるに秋田安永年子息内膳權季が郎等
共の野心より起して下枝の城を戸田道盛公小押領
とせんたる事を深く怨恨し思ひつれを由利内越前守